

今後のリスクコミュニケーションの開催方法について（案）

1 他課事業を活用したリスクコミュニケーションの継続

平成30年度 対象となる研修会等（案）について

- (1) 栄養教諭及び学校栄養職員5年・10年経験者を対象とした研修
(教育庁教育振興部学校安全保健課主催)
【開催時期】 毎年継続事業（平成30年5月10日（予定））
【対象者】 栄養教諭及び学校栄養職員5年・10年経験者
【参加予定人数】 約70名
【その他】 約2時間30分の講習を予定している。
- (2) 市町村食生活改善協議会の研修（調整中）
(健康福祉部健康づくり支援課協力)
【開催時期】 各市町村食生活改善協議会により異なる。
【対象者】 食生活改善推進員
【参加予定人数】 各協議会により異なる。
(食生活改善協議会会員数：2778名 [38市町村加入])
【その他】 現在調整中。平成30年3月8日に予定されている保健所管内会長会議により、概要を説明する予定。
- (3) 食育ボランティア研修会（農林水産部安全農業推進課主催）
【開催時期】 毎年8月、11月（予定）
【対象者】 食育ボランティア、食育サポート企業等
【参加予定人数】 約80名
【その他】 平成29年度当リスクコミュニケーション実施。
実施については、再度調整する予定。

2 一般消費者向け体験型リスクコミュニケーションの継続

「食品安全探検ツアー2018（仮称）」

詳細未定。平成29年度と同様な条件で実施予定。

※実施後のアンケート結果からも施設見学は有用な手段と考えられるため、来年度は、実施回数、人数を増やすことも検討していく。

3 食品に関わる学生を対象としたリスクコミュニケーションの継続

平成29年度に引き続き、以下の2校において実施予定。

- ・学校法人芳野学園 千葉調理師専門学校（千葉市）
- ・千葉県立保健医療大学（千葉市）

4 ちば食の安全・安心出前講座の活用

平成20年度から実施している「ちば食の安全・安心出前講座」の参加者には、食品等事業者だけでなく、消費者の参加も見込まれる。これまでは、講義形式の講習を中心に実施してきたが、講義の一部に双方向性の意見交換の要素を取り入れることによって、効果的なリスクコミュニケーションが可能となると考える。

5 食品の安全・安心レポートによる周知

毎年1回以上、作成配布している食の安全・安心レポートで取り上げることでより消費者への周知を図る。

ホームページへの掲載、関係機関への配布の他、市町村、消費生活センター、事業者、消費者等に幅広く配布しているため、消費者への周知に有用である。